平成21年度当初予算における主な事務事業の見直し

(単位:百万円)

_					(単位:日万円)
番号	項目	H 2 0 当初	H 2 1 当初	事業の概要	見直しの内容
1	県報発行費	24	4	県報により県民に情報提供	県報の発行を紙から電子データのHP掲載による発行に変更し、県報印刷費を縮減 (H20.10月から実施)
2	公立大学法人島根 県立大学運営費交 付金(特殊要因補 助金を除く)	1, 767	1, 653	公立大学法人島根県立大学の 法人及び大学の運営に要する 経費に対する交付金	経営効率化による経常的経費の 縮減及び収入増の努力により運 営費交付金を削減
3	私立学校経営健全 性確保事業	1, 541	1, 460	私立学校(高校、中学校、幼 稚園、専修学校)の経常的経 費に対して補助	①生徒1人当たり補助単価(国費+交付税+県単上乗せ)を約2.5%削減、ただし、国費+交付税の合計額を下限②他方、授業料減免補助金(52百万円)は現行制度を維持。また、魅力と特色のある学校づくり推進事業費補助金(36百万円)を確保・充実
4	自然公園整備事業	7	0	自然公園に遊歩道などの施設 整備を行い、自然公園の景観 維持と適正な利用促進を図る	老朽化の進んだ施設の維持修繕 費を優先的に確保する必要があ り、施設の新規整備を休止
5	生活保護決定・実 施事業	480	268	・生活保護費 ・居住地が明らかでない者に 対し市町村が支弁した保護費 の1/4を県が負担	川本、美郷両町がH21.4月から 福祉事務所を設置することに伴 い、県事業を両町に移管し、各 町で事業を実施
6	医療機関の施設・ 設備整備補助	76	42	中山間地域・県西部地域における病院の医療連携の取組や救急医療体制の維持・確保に資する設備整備に対し補助を実施(県単)	各種の医療機関の施設・設備に 対する国庫補助事業の積極的な 活用により、県単独整備事業費 を縮減
7	介護サービス情報 の公表事業	13	8	介護サービスの利用者が利用 に当たって比較検討できるよ うに、県指定の調査機関が各 事業所のサービス内容等を調 査し、指定公表センターが公 表	指定調査機関の経営効率化による収入増により、介護サービス 公表事務経費に対する補助を縮 減
8	母子家庭等自立支 援事業	18	13	母子家庭等に対し、相談体制 を整えるとともに、自立を促 進するための支援を実施	川本、美郷両町がH21.4月から 福祉事務所を設置することに伴 い、県事業を両町に移管し、各 町で事業を実施

_						(単位:日万円)
番号	項目		H 2 0 当初	H 2 1 当初	事業の概要	見直しの内容
9	遊休農地再生活 緊急支援事業	動	5	0	耕作放棄地利活用促進対策事 業(モデル事業委託)	「しまねの農地再生・利活用促 進事業」として再構築
10	たち上がる産地 成支援事業	2育	53	0	地域力を結集した農産物等の 生産・加工・流通・販売の一 体的取り組みに対する支援	「農林水産振興がんばる地域応 援総合事業」として再構築
11	林業公社支援事 (資金貸付)	業	899	771	林業公社が実施する森林整備 事業及び運営に必要な資金支 援	森林の育成状況等に応じ、間伐 や枝打ちなどの、施業基準を見 直すことにより森林整備事業費 を縮減
12	快適地しまね魅 アップ事業	力	31	19	地域が主体となった魅力ある 観光地づくりを支援し、ホス ピタリティあふれる旅の提供 を促進	観光協会等の自立を促すため、 段階的に広域観光商品開発支援 補助金を縮小
13	観光交流ビジネ 支援事業	ス	26	7	地域資源を活用した地元発の 旅行商品作りへの支援及びそ れに取り組む人材・組織への 支援	観光支援プロデューサーの常駐 を見直し、地域の実情に応じて 案件ごとに専門家等を派遣
14	国際経済交流促 事業	進	29	21	県内企業の国際化を総合的に 支援する体制を整備	これまでの派遣実績により、一 定の能力を有する職員の養成が 図られたため、JETR〇への 職員派遣を終了
15	商工会・商工会 所活動支援事業	議	1, 409	1, 347	中小企業の経営の安定・改善 及び経営革新を進めるため、 経営指導員を配置	商工会の合併による商工会、商 工会連合会の職員数減に伴う補 助金の減
16	障害者の雇用促 ・安定事業	進	27	18	障害者の適性と能力に応じた 雇用機会を確保し、障害者の 雇用を促進するため、県内企 業に対する周知活動や職場適 応訓練等を実施	職場適応訓練費の縮減(同種の 国委託事業で対応)
17	地籍調査事業		882	798	1筆毎の土地について所有 者、地番、地目境界等を確認 し、その成果により法務局の 地籍簿・登記簿を修正する市 町村の事業に対し県が補助	市町村実施事業費の年度間調整
18	生涯学習推進セター事業	!ン	30	22	社会教育・生涯学習に関する 指導者養成、相談・情報提 供、学習機会の提供	・社会教育の実践者等に対する 研修機能に純化 ・「しまね県民大学」の廃止

_				•	
番号	項目	H 2 0 当初	H 2 1 当初	事業の概要	見直しの内容
19	身近な犯罪等対策 事業 (子ども安全対策 事業)	10	0	子どもを犯罪被害から守るためのパトロール、見守り活動等の支援活動に従事する子ども安全指導員雇用経費	学校、警察、防犯ボランティア 等による子ども安全環境が整備 されたことにより廃止
20	交通安全施設整備 事業	577	554	交通信号機、道路標識・標示 等の設置、維持補修費に要す る経費	年度間調整により事業量を縮小
21	総合文書管理シス テム運用経費	82	44	文書の収受・起案から廃棄ま での一連をサイクルするシス テム	電子決裁機能の廃止及びリース 料等の縮減
22	自治研修所研修事 業	84	81	県職員、市町村職員、一部事 務組合等職員の研修	研修講師嘱託2名を1名に減
23	県庁舎等管理費	277	274	県庁各庁舎の維持管理経費	メール使用などにより電話料金 使用料の減
24	合同庁舎等管理運 営費	287	278	7 合同庁舎及び3集合庁舎の 維持管理経費	メール使用などにより電話料金 使用料の減
25	地震津波参集装置 の管理運営	4	0	地震・津波発生時に速やかに 関係職員を呼び出し(携帯電 話等)災害時の動員体制を確立	・H20から総合防災情報システムに携帯メールによる職員参集機能を付加・H20に地震津波職員参集装置撤去
26	中山間地域研究セ ンター事業	39	31	中山間地域研究センターが実 施する研修の運営、管理、情 報提供	中山間地域研究センタに設置していたWebーGISについて、別途県庁土地資源対策課で開発の統合型GISに移行し、保守経費等を減
27	住民基本台帳ネッ トワークシステム 運営事業	99	94	各種行政の基盤であり、居住 関係を公証する住民基本台帳 のネットワーク化を図り、全 国共通の本人確認が可能なシ ステム	ネットワーク回線を全県域WANに 統合するなど各種経費を縮減
28	電子申請受付シス テム運用経費	157	63	許認可に係る申請・届出や公 共施設の予約受付機能を有す る行政の総合窓口となるシス テムを県と市町村で運用	
29	環境マネジメント システムの運用	5	0	本庁、益田合同庁舎において 運用するIS014001規格による 環境マネジメントシステム (EMS)の維持のための認証更 新審査費、職員研修費、電算 システム保守管理費	これまでに培われた成果を生かし、より簡素で効率的なEMSを構築して県の全機関において取り組むこととし、IS014001認証は返上

(単位:百万円)

番号	項目	H 2 0 当初	H 2 1 当初	事業の概要	見直しの内容
30	工場・事業場排水 監視事業	2	1	事業場等から排出される水等 の排出を規制し、排水を監視	事業場等の情報を管理するシス テムの保守内容を見直し、経費 を削減
31	埋蔵文化財調査セ ンター事業	29	26	公共事業に伴う埋蔵文化財発 掘調査に要する経費	閉庁日の展示室公開を中止
32	財務会計オンライ ン運用管理事業	96	77	財務会計オンラインシステム の運用管理等にかかる経費	財務会計オンラインシステムの 専用端末廃止に係るリース料・ 保守料等の減